



「工作機械シンポジウム2015」 の開催

2015年2月19日、当社主催による「工作機械シンポジウム2015」を名古屋市内のホテルにおいて開催した。本シンポジウムは工作機械メーカー、工具メーカーを対象に、工作機械の役割およびものづくりの最新技術ならびに潤滑剤・冷却液の性能向上など、最新の工作機械関連技術に関する情報提供の場として企画していた。

12年ぶりの開催となる今回のシンポジウムでは、「未来をかたちづくる工作機械の今後の方向性と工作機械油に求められる性能」をテーマに工作機械技術の有識者の講演が行われ、132名の参加者にとってたいへん有意義なシンポジウムとなった。

(潤滑油販売部 工業用潤滑油グループ 北見 修)

【シンポジウムの講演概要】

- (1) 日本工作機械工業会：津上事務局長 「最近の工作機械業界動向」
- (2) 中部大学：稲崎特任教授 「工作機械：その役割と課題」
- (3) トヨタ自動車(株)：高見常務理事 「最新の生産技術革新と工作機械・工具業界への期待」
- (4) 名古屋工業大学：中村教授 「高精度・高効率なものづくりに関する最新技術」
- (5) JX日鉱日石エネルギー(株)：小宮潤滑油研究所長 「高精度・高効率加工に寄与する潤滑油・グリース」



シンポジウム会場風景



省燃費デファレンシャルギヤ油 『ギヤグランド DX GL-5 90』新発売

2014年11月、大型トラック・バス向け省燃費デファレンシャルギヤ油として、「ギヤグランド DX GL-5 90」を新発売した。

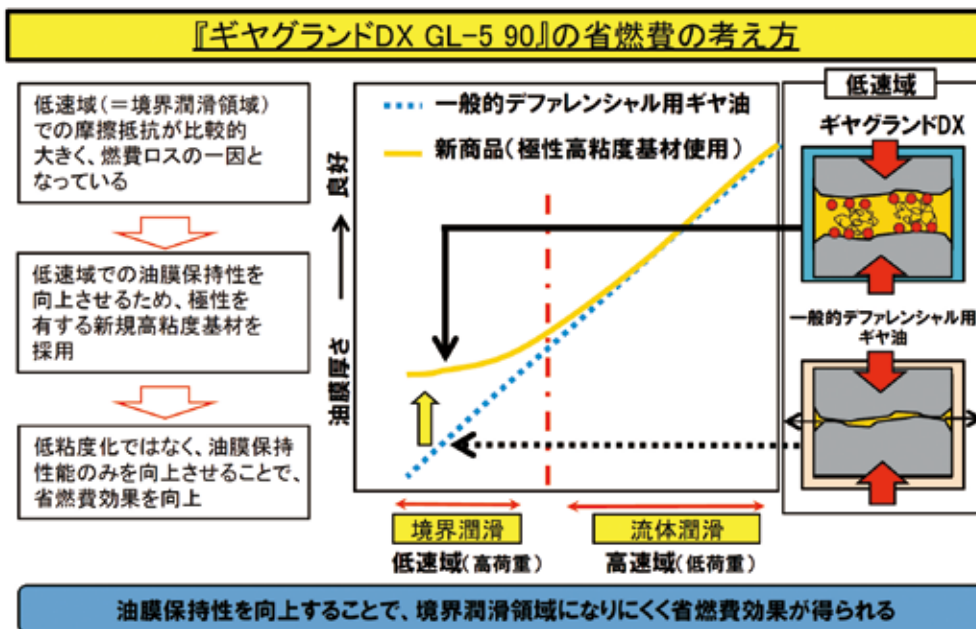
運送業界を取り巻く状況として、改正省エネ法によるCO₂削減義務やコスト削減への継続した取り組みがあげられる。デジタルタコグラフ、エコタイヤおよび省燃費エンジン油の採用など、既に様々な省燃費に対する取り組みが実施されており、新たな対策が求められている。そのような状況下、当社は業界で初めてデファレンシャルギヤ油での省燃費化という新たなコンセプトを持つ商品をラインアップした。

一般的な自動車用潤滑油の省燃費は、「省燃費化＝製品の低粘度化」技術に基づいているが、高荷重となる大型トラック・バスのデファレンシャルギヤ部では、単純に製品の低粘度化を行った場合、油膜保持能力が低下し耐久信頼性を確保できないという課題があった。

「ギヤグランド DX GL-5 90」は従来の省燃費技術とは異なったアプローチで、当社独自の添加剤配合技術に加え、新規極性高粘度基材の採用により、大型トラック・バスに求められるデファレンシャルギヤ油の高い耐久信頼性を損なうことなく、優れた省燃費性能を実現した商品である。

本ギヤ油は、当社での実車テストの結果、当社従来品対比で、平均3.0%の燃費向上効果が確認されている。

(潤滑油販売部 自動車用潤滑油グループ 坂田 裕美)





最先端の機能化学品、当社の技術開発力をアピール 「ファインテックジャパン2015」に出展

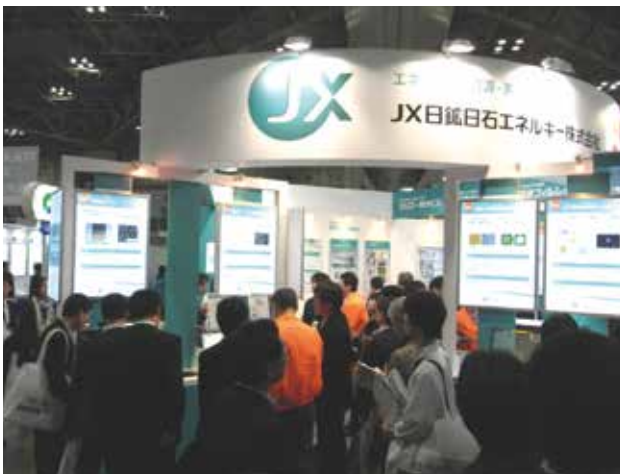
当社は、4月8日～10日にわたり東京ビッグサイト（東京・江東区）において開催された「ファインテックジャパン2015」に出展した。

本展示会は高機能素材の総合展示会で、ナノテクからエレクトロニクス関連まで、幅広い産業分野における多様な材料や技術が出展されている。今回は国内外の素材メーカーやデバイスメーカーなどから3日間で約5万7千人の来場者があり、大変盛況な展示会となった。

当社ブースでは、ナノインプリント技術を応用した『高機能性フィルム（開発品）』、ナノ分散技術を応用した『透明スクリーン用フィルム（開発品）』、均一な粒径分布を特徴とする架橋アクリル微粒子製品『ENEOS ユニパウダー』、軽量・高強度な経緯直交不織布製品『ワリフ・ミライフ』、世界最高耐熱の熱可塑樹脂『ザイダー』などを出展し、当社が持つ技術開発力と最先端の機能化学品をアピールした。

会期中に多数のサンプル引き合いを受けるなど、多くの来場者に興味を持たれ、今後につながる大変有意義な機会となった。

（中央技術研究所 技術戦略室 技術戦略総括グループ 上坂 哲也）



当社展示ブースの風景



展示関係者の顔ぶれ